

市長定例記者会見報告事項概要

令和4年11月18日(金) 午前10時00分～

1. 国重要文化財の新規指定について

- 只今、毛利博物館では特別展が開催中だが、国宝「四季山水図」にまつわる嬉しいニュースが入ってきた。
- 毛利博物館が所蔵する至宝のうち、雲谷等益（うんこく とうえき）が描いた「四季山水図」が、このたび、新たに国の重要文化財として指定される運びとなった。
- 「四季山水図」といえば、雪舟が描いた国宝が有名だが、雲谷等益が描いた四季山水図は、これまで「副本」として、国宝の構成の一つという扱いだった。
- 雲谷派は、「雪舟の後継者」として知られており、その芸術性が高く評価され、国の文化審議会において、文部科学大臣に重要文化財として指定するよう答申されることとなった。
- 防府での国の重要文化財指定は、11年ぶりとなるもので、これで、市内には、国宝5件を含む38件の重要文化財を有することとなる。
- 毛利博物館特別展「国宝」は、読売マラソンの翌日の来月5日（月）まで開催である。
- 雪舟筆の国宝をじっくりとお楽しみいただく絶好の機会なので、水墨画の傑作を所蔵する、毛利博物館に是非お越しいただきたい。

2. 吹奏楽の全国大会出場結果について

- 今月の5日（土）、6日（日）に福島県で開催された、「日本学校合奏コ

ンクール2022 全国大会グランドコンテスト」において、市内の小学校・中学校・高校の吹奏楽部が優秀な成績を収められた。

- 松崎小学校が金賞の中でも最高位の文部科学大臣賞に、県立の防府西高等学校が金賞及び福島県教育長賞に、中学校の部では桑山中学校在銀賞に選ばれた。
- 特に、松崎小学校は、5年連続の金賞受賞であり、今回は、特別賞として日本一の文部科学大臣賞を5年ぶりに受賞された。
- まさに、音楽のまち・防府を飾る活躍である。
- スポーツでも高校生が見事な成績を収められた。
- 全国高校サッカー選手権の山口県予選で、高川学園が4年連続、28回目となる全国の切符を手にし、春の高校バレーでは、男子は高川学園が8年連続11回目、女子は誠英高校が33年連続43回目の全国大会出場を果たされた。
- 音楽、スポーツともに活躍する、防府の子供たちをこれからも応援していきたいと考えている。
- 明日は全国中学校駅伝の予選がセミナーパークで行われる。市内の学校から全国大会に出場するチームが現れることを期待している。

3. 令和4年12月補正予算案の概要について

- このたびの補正は、原油価格・物価高騰対策や、人事院勧告に基づく職員等の給与の改定などに基づく補正となっている。
- 原材料価格の高騰や円安の影響等による物価高騰により、多大な影響を受けている市民生活や市内経済等の状況を鑑み、必要となる「市民生活支援」、「事業者支援」、「安全・安心・災害対策」などについて計上して

いる。

- 国の「物価高 克服・経済再生実現のための総合経済対策」に基づき、新たに交付される臨時交付金の全額を活用した対策を行うとともに、前年度繰越金の財源を活用した、市単独の対策も講じている。
- より効果的な対策とするために、債務負担行為の設定を行っている。
- その結果、原油価格・物価高騰対策の補正予算の規模としては、約11億2,200万円とかなり大規模なものとなった。

(1) 市民生活支援

① 出産・子育て応援給付金事業

- 出産や育児に係る経済的負担を軽減するため、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、子ども1人当たり10万円相当のクーポン券を支給するための経費として、1億8,000万円を計上している。
- 国が3分の2、県が6分の1、市が6分の1の負担となる。

② 子育て世帯生活応援事業

- 光熱費や食料品などの物価高騰により、特に影響を受けている子育て世帯を支援するため、15歳以下の児童に対し、一人1万円分のクーポン券を配布することとし、1億5,700万円を計上している。

③ 給食費高騰緊急対策事業

- 食材費の高騰により、市内の幼稚園、保育所や小・中学校での、子育て世帯の給食費の負担が増加することのないよう、昨年度との食材費の差額を負担しているが、来年度も引き続き同様の支援を行うこととしている。
- 令和3年度を基準に令和5年度も同額の負担とするため、1億7,500万円の債務負担行為を設定している
- 当初予算で措置すれば対応可能だが、現時点で広く市民や幼稚園並びに

保育所に周知するため、債務負担行為を設定するものである。

④ 市民生活応援事業

- これまで4回プレミアム商品券を発行しているが、物価高が市民生活に幅広く影響を与える中、多くの市民の方に購入していただきたいと考えている。
- これまでは経済対策に重きを置いていたが、この度は市民生活支援も念頭におき実施するものである。
- プレミアム率20%の商品券を、過去最大の12万セット発行することとし、2億5千5百万円を計上している。
- 経済対策の観点から、中小規模店でのみ使用できる専用券の割合を半分に拡大し、1セット12枚のうち、6枚を専用券にすることとしている。
- これらは、市議会や商工会議所等の皆様からの要望を踏まえながら対応させていただいたものである。

(2) 事業者支援

① 中小企業振興資金融資制度の拡大

- 厳しい経営状況が続く中、資金調達が円滑に行えるよう、資金需要が高い「原油価格・物価高騰 対策資金」の融資枠を5億円から10億円に拡大することとし、1億500万円計上している。

② 中小事業者等物価高騰対策事業

- 原油価格や物価高騰などの影響により、厳しい経営状況にある中小事業者等に対し、ICOCAなどが使用できる「キャッシュレス決済システム」の導入など、業務の効率化や売上の向上、コロナ対策に資する設備の導入や、新たな取り組みを支援することとし、1億円を計上している。

③ 運送事業者等緊急支援事業

- 原油価格高騰の影響を受ける運送事業者等に対し、低燃費タイヤ（エコタイヤ）の購入費の一部を支援することとし、5,000万円を計上している。
- カーボンニュートラルの施策のためにも、事業者の低燃費タイヤの導入を進めていきたいと考えている。

④ 畜産経営継続緊急支援事業

- 飼料等の高騰により厳しい経営環境にある、畜産農家が経営を継続できるよう、円安などの影響により価格が高騰している輸入粗飼料の価格高騰分の一部を、緊急的に支援することとし、1,000万円を計上している。

⑤ 高齢者施設等新型コロナウイルス検査補助事業

- 感染拡大を防止するため、感染時における重症化のリスクが高い高齢者施設や障害者施設において、感染者が発生した際の従事者の検査に用いる抗原検査キット購入費の一部を支援することとし、5,000万円を計上している。

(3) 安全・安心・災害対策

① 緊急浚渫推進事業

- 河川氾濫による浸水被害を軽減させるため、出水期までに河川浚渫の進捗が図れるよう、債務負担行為を4,000万円設定している。これにより、市民の安全安心をより一層進めていきたい。

(4) 競輪事業特別会計

- 好調なインターネット販売に伴う、当初見込みを上回る車券売上げの増加に対応するため、払戻金等の予算を計上するものである。

(5) その他

- 一般会計、特別会計の各会計において、電気代等の急激な値上げに伴う光熱費についての補正、及び人事院勧告に基づく職員給与費の補正について計上している。

4. 議案等の概要について

(1) 議案第79号

- 防府市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定については、条例等の規定に基づく書面による手続等をオンライン化するために必要な事項を定めるものである。

(2) 議案第80号

- 防府市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定については、定年延長制度の導入に合わせ、高齢職員の多様な働き方を認めるため、職員の高齢者部分休業に関し、必要な事項を定めるものである。

(3) 議案第81号

- 学校給食費に関する条例の制定については、学校給食に係る学校給食費を公会計化することに伴い、学校給食費の取扱いについて、必要な事項を定めるものである。

(4) 議案第82号

- 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定については、職員の定年年齢を引き上げるため、関係条例について所要の改正をするための条例を制定するものである。

(5) 議案第83号

- 非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等中改正については、人事院の国家公務員給与の改定の勧告に準じ、一般職の職員の今

年度分の給与について、給料月額の上上げを本年4月1日に遡り適用するもの、勤勉手当の支給割合を増額するもの、並びに職員の勤勉手当の改定に伴い、議員及び市長等の特別職の期末手当の支給割合を改正するものである。

(6) その他

- 選任2件については、防府市公平委員会委員及び防府市固定資産評価審査委員会委員の選任について、議会の同意を求めるものである。

5. その他

- 秋の深まりとともに、これから市内では「すごいぞ！防府 秋の大イベント」、来週は御神幸祭、そして読売マラソン、またお笑い講とイベント・行事が目白押しとなるが、しっかりと実施してまいりたい。
- 本日、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、イベントにあたっては万全の対策を講じること、第8波に備えてワクチン接種を計画通り取り組むこと、季節性インフルエンザの同時流行に想定しながら備えをすることを関係部長に指示したところである。
- 本市においては、新型コロナへの対応を抜かりなく行い、ウィズコロナの中で、しっかりと「防府の秋」を盛り上げてまいりたい。
- 第53回防府読売マラソン大会が、いよいよ来月4日（日）に迫ってきた。
- 「若手の登竜門」と言われた本大会が50年の時を経て、オリンピックにつながる大会となったことを大変うれしく思う。
- 半世紀を超え、途切れることなく開催してきた成果であり、市民の皆様に深く感謝申し上げる次第である。

- 市民とともに作り上げてきた防府読売マラソンが新たなステージとなり、防府から日本のマラソンを変えていきたいと考えている。
- 本大会では、2時間7分台を自己記録にもつ選手が3名出場し、また招待選手9名全員が2時間10分以内の記録をもっている。女子も有力な実業団選手が来られるので、素晴らしいレースになることを期待している。
- 今回は西日本全体でテレビ放映されるので、防府のまちをしっかりとアピールしていきたい。